

令和6年度 食生活改善支援事業 食の健康チャレンジプロジェクト

「自然に健康になれる食卓づくり」 実施状況

1. 背景

愛知県は野菜摂取量が全国下位群であり、愛知県民の野菜摂取量向上の推進のためには、健康無関心層への働きかけが課題となっている。令和3～5年度にはマックスバリュ清須春日店にて、あえて「健康」等の健康啓発ワードを使用せず、「主婦休みの日」というイベントをクローズアップして食材セット（野菜が1人あたり70g以上摂れる）の販売を行った。「主婦休みの日」や調理が簡単といった視点でPRを行い、あえて健康啓発をしないことにより、健康無関心層にも届くような自然に健康になれる仕掛けづくりのモデル的取り組みを実施した。

課題として、保健所管内1カ所のみで取組となっており、販売期間が限定されていることや人手を要する内容があるため、単純な事業拡大が難しいことが挙げられた。

2. 目的

少しでも野菜の摂取量を増やしてもらえるようなPOPの掲示、レシピの配布による自然と望ましい食行動に導くナッジ等を利用した食環境整備から、愛知県民の野菜摂取量の向上を目的とする。

3. 関連機関

マックスバリュ東海株式会社（産）、マックスバリュ清須春日店（産）、
名古屋文理大学（学）、名古屋文理大学短期大学部（学）、愛知県清須保健所（官）

4. 内 容

（1） 実施概要：

普段の家庭料理に野菜をプラスαしてもらえるように、POPなどの掲示物を作成し、生鮮野菜売場、カット野菜売場、冷凍野菜売場などに設置する。

（2） 実施場所：

マックスバリュ清須春日店

（3） 実施期間：

令和6年11月1日（金）～ 令和6年11月30日（土）

（4） 関係機関の役割：

マックスバリュ東海（株）及びマックスバリュ清須春日店の協力の元、名古屋文理大学・後藤ゼミ学生がアンケート実施、POP、レシピ作成を担当し、清須保健所が全体の調整を行った。

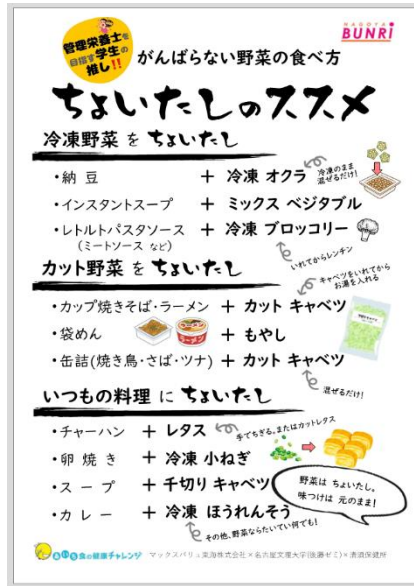
（5） 評価方法

POP掲示期間（11月）と、そのひと月前（10月）及び昨年度同期間の野菜の販売数量を調べ、POPの効果を検証する。PI値と呼ばれる販売量を示す値を用いて、販売品目ごとに評価を行う。

(6) POP、レシピ等の掲示物、配布物について



配布チラシ表



配布チラシ裏



掲示 POP 例

配布レシピ例

(7) 事業経過について

令和6年度日程	内容
5月1日	キックオフミーティング
5月31日	POP 内容検討のためのアンケート調査項目検討ミーティング
6月12日	愛知県農業水産局 農政部 園芸農産課 野菜・果樹グループとの情報交換会
7月9、10日	POP 内容検討のためのアンケート調査実施
8月2日	アンケート調査結果共有ミーティング
8月29日	POP 作成の進捗状況確認ミーティング
9月13日	第一回現地ミーティング
10月24日	第二回現地ミーティング
11月1日～11月30日	POP 掲示、レシピ配布実施
12月19日	報告会

(8) 実施の様子



店舗入り口



カット野菜コーナー



もやしコーナー